

磯子の海の変遷

時代の流れ

古代



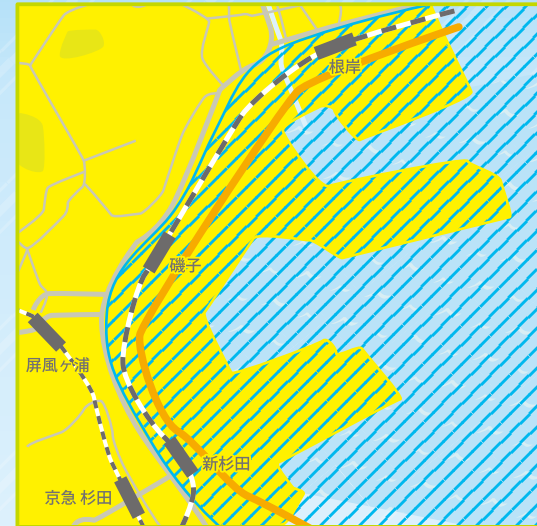
三殿台考古館 (三殿台遺跡)

三殿台遺跡は、磯子区岡村の標高55.1mの丘上にあります。昭和36年に発掘調査され、縄文時代・弥生時代・古墳時代3時代の竪穴住居跡が約270軒見つかりました。古代のムラの様子と当時の生活を知ることができる貴重な遺跡として国の指定遺跡になり、出土品も展示されています。そして、三殿台遺跡は岡村出身のデュオ『ゆず』の母校である岡村小学校の隣にあり、『ゆず』の聖地としても親しまれています。



小学生から参加できる火おこし体験や石器作り、勾玉作り体験などを通じて古代の生活の様子や文化に触れられるよ。

磯子の文化の芽



- 現在の海
- 明治時代の海
- 現在の陸地
- 埋立地域

明治

大正

横浜市電保存館

横浜市電保存館は車両展示、歴史展示、鉄道ジオラマ、多目的コーナーの4つのコーナーに分かれています。中でも平成29年1月28日にリニューアルした歴史展示コーナーでは、市電を中心とした横浜の発展と都市交通のあゆみを知ることができます。車両展示コーナーで実物の市電に触れ、歴史展示コーナーで横浜と市電の歴史を知ること、横浜の市電について思いを馳せることができる施設となっています。



横浜市電路線図

みんなのおじちゃん・おばあちゃんが小学生くらいだった昭和40年頃は市電の終点がいまの新杉田公園のあたりにあったんだよ。



根岸なつかし公園 旧柳下邸

大正中期の現存する数少ない建築物として、また、洋館と和館が一体となった近代和風住宅としての魅力をもっています。庭園では一年を通じて植栽を楽しめるほか、ひなまつり、端午の節句、七夕、十五夜といった季節の行事にあわせて建物内外をしつらえて大正から昭和にかけての日本の暮らしの様子や行事が体験できるようになっています。

洋館と和館が一体となっている建物は映画の舞台にもなりそうな雰囲気だね。



昭和30年(1955年)頃の杉田海岸



市電杉田駅終点

昭和

久良岐能舞台

とうろう すいきんくつ 灯籠や水琴窟が楽しめる「つくばい(※)」なども設けられ、散策に訪れた際の格好の憩いの場となっています。四季折々に彩りを変える庭園に包まれた雰囲気のある施設で、豊かな自然に囲まれた能舞台の異次元の世界を感じることができます。



久良岐公園の中に能舞台ができてから約50年。地域の人たちが協力して掃除をしているからきれいな庭を見ることができるんだね。



※つくばいとは 日本庭園の添景物の一つで露地(茶庭)に設置されています。茶室に入る前に、手を清めるために置かれた背の低い手水鉢に役石をおいて趣を加えたものです。手水で手を洗うとき「つくばう(しゃがむ)」ことからその名前がつけました。

株式会社東芝

日本を代表する企業である東芝の事業所が磯子にあります。そこで活動する「東芝吹奏楽団」、「東芝ライドオンジャズオーケストラ」のメンバーは普段はお仕事をしながら活動しています。それぞれの団体が定期演奏会やイベントや地域の施設などで依頼演奏や、都市対抗野球に参加している東芝野球部の応援などを行っています。

<東芝吹奏楽団>

第1回磯子音楽祭、磯子まつりオープニングイベント開幕式典、横浜開港150周年記念式典など磯子区の行事に多数参加しているほか、訪問演奏なども行っています。2007年にはNHKの番組にて活動が紹介され、団員とともに磯子区の町並みが放映されました。現在、団員を募集しています。詳細はホームページ (URL: http://www.2s.biglobe.ne.jp/~horiuchi/TWE_index.html) をご覧ください。



<東芝ライドオンジャズオーケストラ>

名前の由来はシャープスアンドフラッツの原信夫さんから「ノリがいいバンドなので、バンド名をライドオンとしたら」とアドバイスいただいたことによります。ビッグバンドジャズを中心にラテンやロックまで幅広く演奏しており、ここ数年は仙台市で行われる定禅寺(じょうぜんじ)ストリートジャズフェスティバルにも出演しています。今後の情報などは公式 facebook (<https://ja-jp.facebook.com/rideonjazz/>) をご覧ください。



東芝の合奏練習は、磯子駅にある東芝生産技術センターでやってるよ。



現代



コンビナート(根岸湾)